

キタネグサレ	サツマイネコブ	キタネコブ	晩生
ダイズシスト	ジャガイモシスト	土壌病害	規格:20kg/袋

雪印種苗のベストセラー品種！

- キタネグサレセンチュウ対抗植物。(平成3年北海道普及奨励事項)
- 各種土壌病害を軽減。(アブラナ科野菜根こぶ病、コムギ縞萎縮病、ジャガイモそうか病、アズキ落葉病等)
- 栽培・すき込みが容易。

ヘイオーツはエンバク野生種の中でも線虫抑制効果の高い品種です。類似品にご注意ください。(詳細P21)

※ヘイオーツは土壌中の線虫抑制効果が高く、根中の卵率の低い(5%以下)のものを選抜しています。

主な対象作物



栽培のポイント

播種期: 4月下旬～6月中旬、7月下旬～8月中旬、8月下旬～9月上旬(野菜類の後作など) 高温時の早播きは避けてください。

播種量: 10～15kg/10a (線虫対策には15kg/10a、9月播種は20kg/10a)

播種方法: 散播 播種後は覆土と鎮圧をしてください。

施肥量: N:5、P:5、K:0～5kg/10a

すき込み期: 7月上旬～8月中旬、10月中旬～下旬

アウェナ ストリゴサ(エンバク野生種)

品種

ヘイオーツ



「おとり作物」としての品種ヘイオーツの利用

緑肥作物の利用は地上部のすき込みによる地力向上目的だけでなく、地下部による物理性の改善、病害軽減効果も期待できます。「おとり作物」としての緑肥作物の利用は、病原菌やウイルスを媒介する菌を根に感染(トラップ)することで、密度を減らし後作物での発病を軽減する効果が期待できます。

アブラナ科野菜根こぶ病

ブロッコリーやキャベツなどのアブラナ科作物に被害をおよぼす根こぶ病に対して「おとり作物」としての利用が可能です。根こぶ病菌の休眠胞子を根に感染させることで胞子の発芽を促し、死滅を早める働きがあります。

※フルスルファミド剤は根こぶ病菌休眠胞子の発芽を阻害する作用があるため、前作等で使用される場合には、根こぶ病菌の休眠胞子が発芽せず、おとり作物としての機能が十分に発揮されない可能性があります。



ブロッコリーでの根こぶ症状



根毛中の感染の様子

コムギ縞萎縮病

秋播きコムギに発生するコムギ縞萎縮病はウイルス病ですが、土壌生息菌である *Polymyxa graminis* によって媒介され、コムギに感染します。ウイルス寄生範囲はコムギですが、*P.graminis* は品種ヘイオーツにも感染するため、品種ヘイオーツを「おとり作物」として利用することで発病程度が低い圃場では発病軽減効果が期待できます。

※発病程度が高い圃場では発病軽減効果がないことが確認されていますのでご注意ください。



春先の縞萎縮病発生の様子

キタネグサレ	サツマイネコブ	キタネコブ	極早生
ダイズシスト	ジャガイモシスト	土壌病害	規格 1kg/袋×20袋入

ハウス栽培後や春先の有機物補給に

- 品種 スワンより早生のエンバク。
- 九州沖縄農業研究センターと共同で育成したサツマイモネコブセンチュウ対抗植物。※道内では効果未検証
- サツマイモネコブセンチュウがいないハウスにおいて「藤えもん」と混播することで窒素固定による地力向上も期待できる。(品種 スナイパー2kg、藤えもん1kg/100坪ハウス)

主な対象作物



栽培のポイント

播種期: 露地 8月下旬～9月上旬 越冬ハウス(二重/加温) 11月

播種量: 10kg/10a

播種方法: 散播 播種後は覆土と鎮圧をしてください。

施肥量: N:4～6、P:5～10、K:0～5kg/10a

すき込み期: 露地 10月、越冬ハウス 翌年3月

エンバク

品種

スワン



キタネグサレ	サツマイネコブ	キタネコブ	極早生
ダイズシスト	ジャガイモシスト	土壌病害	規格:20kg/袋

スナイパー

PVP 海外輸出禁止 (農林水産大臣公示有)



早生

規格:20kg/袋

キタネグサレ	サツマイネコブ	キタネコブ
ダイズシスト	ジャガイモシスト	土壌病害

早生のエンバク 有機物補給に

*早播きは早期に出穂するためご注意ください。

栽培のポイント

播種期: 7月下旬～8月中旬

播種量: 15～20kg/10a

播種方法: 散播 播種後は覆土と鎮圧をしてください。

施肥量: N:4～6、P:5～10、K:0～5kg/10a

すき込み期: 10月中旬～10月下旬

キタネグサレ	サツマイネコブ	キタネコブ
ダイズシスト	ジャガイモシスト	土壌病害

(中生)

規格:22.5kg/袋

エンバク

品種

とちゆたか

耐倒伏性に優れ、防風・防砂に適する

- 初期生育が良好な中生のエンバク。
- 耐倒伏性に優れる直立性の草姿。
- テンサイの直播栽培の防風・防砂対策、ジャガイモの隔離栽培での利用も可能。

主な対象作物



テンサイ



ジャガイモ

栽培のポイント

播種期: 4月下旬～6月中旬、7月下旬～8月中旬
 播種量: 10～15kg/10a (間作利用は5～8kg/10a)
 播種方法: 条播、散播
 播種後は覆土と鎮圧をしてください。
 施肥量: N:4～6、P:5～10、K:0～5kg/10a
 すき込み期: 播種後2か月、出穂前後を目安



ライムギ
R-007 (ウィーラー)

品種



(極晩生)

規格:20kg/袋

キタネグサレ	サツマイネコブ	キタネコブ
ダイズシスト	ジャガイモシスト	土壌病害

越冬利用でキタネグサレセンチュウ対策や早春の土壌流亡対策に

- 雪腐病抵抗性に優れる。
- ドリフトガードクロップとしても利用可能。

主な対象作物



野菜類(露地)



野菜類(ハウス)

栽培のポイント

播種期: 年内利用 8月下旬～9月上旬
 越冬利用 9月中旬～下旬
 播種量: 10～15kg/10a
 (線虫対策には15kg/10a)
 播種方法: 散播 播種後は覆土と鎮圧をしてください
 施肥量: N:4～6、P:5～10、K:0～6kg/10a
 すき込み期: 年内利用 10月～11月
 越冬利用 翌年5月～6月、出穂前後を目安

●ライムギは特に発芽率が低下しやすい草種です。お買い上げいただいた種子は、低温低湿な場所に保管してください。

キタネグサレ	サツマイネコブ	キタネコブ
ダイズシスト	ジャガイモシスト	土壌病害

規格 1kg/袋×20袋入

キタネグサレセンチュウを減らす長大作物

- 長期利用が可能で粗大有機物確保に適する。
- 茎が細く、分げつが多い。
- クリーニングクロップ (ハウス) やドリフトガードクロップとして利用できる。

主な対象作物



野菜類(露地)



野菜類(ハウス)

栽培のポイント

播種期: 露地 6月～7月、ハウス 5月～8月
 播種量: 5kg/10a
 播種方法: 条播、散播 播種後は覆土と鎮圧をしてください。
 施肥量: 露地 N:6～10、P:6～10、K:0～10kg/10a、(ハウスは残肥を利用)
 すき込み期: 露地 8月～9月、ハウス 7月～10月

ソルガム

つちたろう (ジャンボ)

品種



キタネグサレ	サツマイネコブ	キタネコブ
ダイズシスト	ジャガイモシスト	土壌病害

(RM95-100)

規格:5万粒/袋

休閑利用で粗大有機物確保に

- 遊休地の地力向上に利用可能。

栽培のポイント

播種期: 5月～6月
 播種量: 8,000本/10a程度
 播種方法: 条播、散播 播種後は覆土と鎮圧をしてください。
 施肥量: N:8～12、P:12～16、K:0～12kg/10a
 すき込み期: 9月～10月

スーダングラス

ねまへらそう (スーパーダン2)

品種



キタネグサレ	サツマイネコブ	キタネコブ
ダイズシスト	ジャガイモシスト	土壌病害

規格 1kg/袋×20袋入

サツマイネコブセンチュウを減らす長大作物

- ヘッドレス (出穂しにくい) タイプのため、休閑利用で粗大有機物確保に適する。
- クリーニングクロップ (ハウス) やドリフトガードクロップとして利用できる。

主な対象作物



野菜類(露地)



野菜類(ハウス)

栽培のポイント

播種期: 露地 6月～7月、ハウス 5月～8月
 播種量: 5kg/10a
 播種方法: 条播、散播 播種後は覆土と鎮圧をしてください。
 施肥量: N:8～10、P:8～12、K:0～10kg/10a、ハウスは残肥を利用
 すき込み期: 露地 8月～9月、ハウス 7月～10月

トウモロコシ

品種

SH9599



キタネグサレ	サツマイネコブ	キタネコブ
ダイズシスト	ジャガイモシスト	土壌病害

規格:まめ助 10kg
品種とちゆたか 6kg

混播により環境適応力がUP 8月中旬～下旬の播種が可能に

- まめ助が耐倒伏性に優れる品種とちゆたかに絡まるため草姿は立性。

*まめ助5kg+品種とちゆたか3kg/10aの混播セットです。
種子は混合されていません。

主な対象作物



マメ類



デンサイ



野菜類(露地)

栽培のポイント

播種期: 5月上旬～6月中旬、7月下旬～8月下旬

播種量: 計8kg/10a(20a分で16kg包装です)

播種方法: 散播 播種後は覆土と鎮圧をしてください。

施肥量: 休閑 N:4～8、P:6～8、K:0～8kg/10a
後作 N:3～6、P:6～8、K:0～6kg/10a

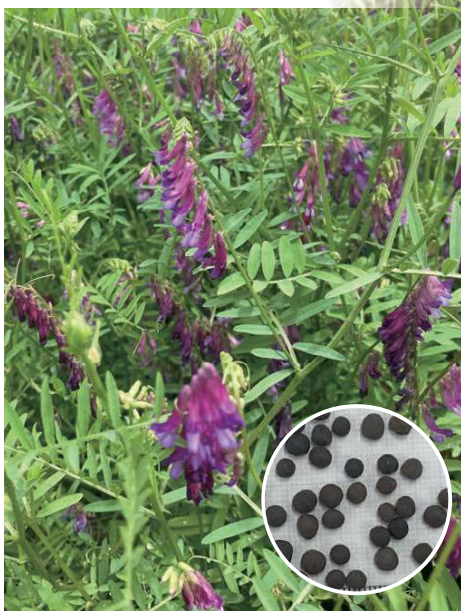
すき込み期: 7月中旬～8月中旬、10月中旬～下旬

混播セット(ヘアリーベッチ・エンバク)

まめゆたか



ヘアリーベッチ まめ助 (ナモイ)



早生

規格
1kg/袋×20袋入

キタネグサレ	サツマイネコブ	キタネコブ
ダイズシスト	ジャガイモシスト	土壌病害

根粒菌による窒素固定で減肥対策

- 表土の土壌流出対策に適する。
- アレロパシー効果による一年生雑草抑制が期待できる。
- 藤色の花が咲き、景観美化や蜜源植物として利用できる。

主な対象作物



マメ類



デンサイ



野菜類(露地)



「ヘアリーベッチ」の
詳しい情報

栽培のポイント

播種期: 5月上旬～6月中旬、7月下旬～8月中旬

播種量: 5kg/10a

播種方法: 散播
播種後は覆土と鎮圧をしてください。

施肥量: N:2～5、P:5、K:0～5kg/10a

すき込み期: 7月中旬～8月中旬、10月中旬～下旬

キタネグサレ	サツマイネコブ	キタネコブ
ダイズシスト	ジャガイモシスト	土壌病害

規格
1kg/袋×20袋入

早生

ヘアリーベッチ

藤えもん (マッサ)

耐湿性と低温伸長性に優れる

- 根粒菌による窒素固定で後作物の減肥に役立つ。
- アレロパシー効果による一年生雑草抑制が期待できる。
- 藤色の花が咲き、景観美化や蜜源植物として利用できる。

*越冬する場合があるためしっかりとすき込んでください。

主な対象作物



マメ類



デンサイ



野菜類(露地)

栽培のポイント

播種期: 5月上旬～6月中旬、7月下旬～8月中旬

播種量: 4～5kg/10a

播種方法: 散播 播種後は覆土と鎮圧をしてください。

施肥量: N:2～5、P:5、K:0～5kg/10a

すき込み期: 7月中旬～8月中旬、10月中旬～下旬

晩生

規格
1kg/袋×20袋入

キタネグサレ	サツマイネコブ	キタネコブ
ダイズシスト	ジャガイモシスト	土壌病害

越冬性と耐湿性に優れる

- 根粒菌による窒素固定で後作物の減肥に役立つ。
- アレロパシー効果に加え、晩生品種であるため長期間地表を覆うことができ雑草抑制が期待できる。
- 藤色の花が咲き、景観美化や蜜源植物として利用できる。

*開花は春播きと秋播き越冬後のみです。

*播種期が遅れると越冬しない場合があるのでご注意ください。

主な対象作物



マメ類



デンサイ



野菜類(露地)

栽培のポイント

播種期: 年内利用 5月上旬～6月中旬
越冬利用 9月

播種量: 5kg/10a

播種方法: 散播 播種後は覆土と鎮圧をしてください。

施肥量: N:2～5、P:5、K:0～5kg/10a

すき込み期: 7月中旬～8月中旬、翌年4月～7月

キタネグサレ	サツマイネコブ	キタネコブ
ダイズシスト	ジャガイモシスト	土壌病害

規格
500g/袋×40袋入

ダイズシストセンチュウ対抗植物 景観美化や地力増進に

- 深根性の一年生クローバ。
- 根粒菌による窒素固定で地力を増進する。
- 深紅の花が咲き、景観美化に適する。

*排水不良地やコムギの間作には適しません。
*夏播き栽培では春播きに比べて線虫密度低減効果が低いです。

主な対象作物



マメ類



野菜類(露地)

栽培のポイント

播種期: 4月下旬～6月中旬、7月下旬～8月上旬
(線虫対策には早期播種がポイント)

播種量: 2～3kg/10a

播種方法: 散播または畝幅20cm程度の密条播
種子が小さいため播種後の覆土は浅めにしてください

施肥量: N:3～4、P:8～12、K:0～6kg/10a

すき込み期: 7月～8月、10月

クリムソンクローバ

品種

くれない



アカクローバ

品種

メジウム



ソバ間作の様子

規格
1kg/袋×20袋入

キタネグサレ	サツマイネコブ	キタネコブ
ダイズシスト	ジャガイモシスト	土壌病害

ダイズシストセンチュウ対抗植物 遊休農地対策や間作利用が可能

- 深根性の多年生クローバ。
- 根粒菌による窒素固定で地力を増進する。
- コムギやソバの間作に適する。

*コムギ間作は適度に土壌水分があるうちに播種する。

主な対象作物



コムギ



ソバ

栽培のポイント

播種期: 休閑 5月～6月
コムギ間作 4月、ソバ間作 6月

播種量: 休閑 2～3kg/10a、
コムギ間作 3～4kg/10a、ソバ間作 3kg/10a

播種方法: 散播
種子が小さいため播種後の覆土は浅めにしてください
施肥量: 休閑 N:2～4、P:8～12、K:0～5kg/10a
コムギ間作 N:0～2、P:0～5、
(ソバ間作はソバの施肥に合わせる)

すき込み期: 9月～10月

キタネグサレ	サツマイネコブ	キタネコブ
ダイズシスト	ジャガイモシスト	土壌病害

規格
1kg/袋×20袋入

辛味成分高含有品種で 土壌病害の被害軽減に

- 土壌にすき込むことで、土壌病原菌(コムギ立枯病、ホウレンソウ萎凋病、デンサイ根腐病、ジャガイモ黒あざ病等)による被害の軽減が期待できる。

- 葉が柔らかく、すき込み後の分解が早い。

*周囲にアブラナ科野菜がある場所は、栽培を避けてください。(詳細P24)
*コムギ後作の場合は、コムギ収穫後できるだけ早期に播種作業を行って生育量を確保してください。

主な対象作物



コムギ



ジャガイモ



デンサイ



野菜類(ハウス)

栽培のポイント

播種期: 露地 5月、8月(夏播きはできるだけ早めに)
ハウス 2月～4月、8月

播種量: 1.0～1.5kg/10a

播種方法: 条播、散播

種子が小さいため播種後の覆土は浅めにしてください

施肥量: N:8～10、P:5～10、K:0～7kg/10a

すき込み期: 着蕾から開花始の茎葉部の多い時期

カラシナ

品種

辛神

PVP

海外輸出禁止
(農林水産大臣公示有)

辛神の上手な利用方法

播種時

種子と肥料を混和して播種する場合

化学肥料と混和して播種する場合は、ブロードキャスターやドリルシーダーの利用が可能です。ブロードキャスター利用時に混ぜる肥料の粒径が大きい場合(硫黄など)は、種子の散布幅が肥料と同様の幅では飛ばないため、作業開始直後に種子の落下幅を確認し、肥料が多少オーバーラップするよう散布をしてください。

種子のみで播種する場合

種子だけを播く場合はライムソーやエアリーダーによる播種が可能です。タンクに種子を充填し、シャッターの絞りと走行速度から面積あたりの落下量を算出し1.0～1.5kg/10aになるよう播種してください。なお、上記の機械を使う場合は別途で施肥が必要です。

- ①播種深度が深くないよう気を付ける 種子が小さいため、播種後はケンブリッジローラー等による鎮圧、もしくはロータリーを浅くかけてください。
- ②肥料不足では「辛神」の生育量がかせげない 地力が低い、あるいは残肥が期待できない圃場では「辛神」への元肥を施肥することをおすすめします。

すき込み時

③すき込み適期は着蕾期～開花始期

生育量が多く、辛味成分(グルコシノレート)含量が最も高い時期です。

- ④すき込み直前に細断する チョッパーやフレールモア等で細断して作物体を傷つけることで、有効成分であるガス(イソチオシアネート)が多く発生します。細断する機械がない場合は、ディスクハローやロータリーを複数回かけてすき込みを行ってください。細断後に発生するガスを土壌にとどめるため、すき込む直前の細断がおすすめです。

露地の場合↓

- ⑤降雨の前にすき込む 水分が多い条件下で有効成分のガス化が促進されます。
- ⑥すき込み後に鎮圧する 鎮圧することで、土壌での分解中に発生するガスをできるだけ土壌内にとどめることができます。
- ⑦作物の播種/定植は3～4週間後が目安

ハウスの場合↓

- ⑤すき込み直後に散水する 水分が多い条件下で有効成分のガス化が促進されます。
- ⑥約2週間ビニールで被覆する 被覆することで、土壌での分解中に発生するガスをできるだけ土壌内にとどめることができます。
- ⑦作物の播種/定植はビニール被覆を外した後、1～2週間後が目安

!播種/定植前に耕起を行う場合は、殺菌されていない下層土が混ざらないようにしてください!



ドリルシーダーによる播種



ライムソーによる播種



フレールモアによる細断



着蕾期

キタネグサレ	サツマイネコブ	キタネコブ
ダイズシスト	ジャガイモシスト	土壌病害

規格
1kg/袋×20袋入

発芽・初期生育が良好で栽培しやすい アブラナ科緑肥作物

- イネ科と比べて分解が早く、主作物作付け時に残渣が残りにくい。
- テンサイ前作への作付けで糖収量の増収効果がある。
- 黄色い花を一面に咲かせ、景観美化に適する。

*周囲にアブラナ科野菜がある場合は、栽培を避けてください。
*排水不良地での栽培は避けてください。

主な対象作物

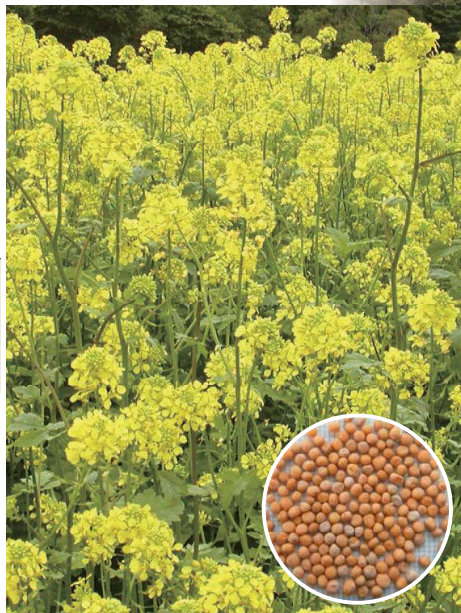


テンサイ

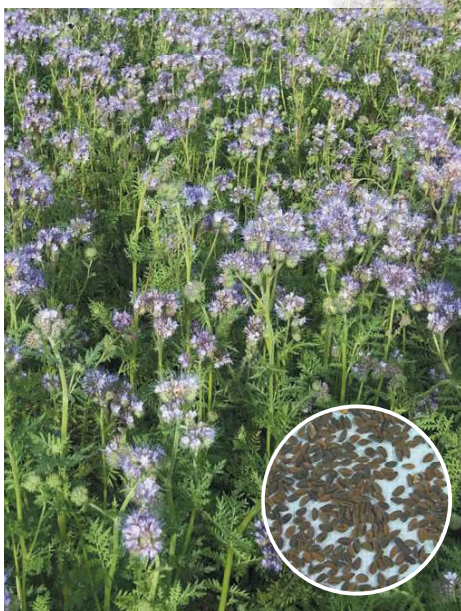
栽培のポイント

播種期: 4月下旬～6月中旬、7月下旬～8月下旬
播種量: 2～3kg/10a
播種方法: 条播、散播
 種子が小さいため播種後の覆土は浅めにしてください。
施肥量: N:5～8、P:5～10、K:0～7kg/10a
すき込み期: 6月下旬～7月下旬、10月

シロガラシ キカラシ (メテックス)



ハゼリソウ アンジェリア

規格
1kg/袋×20袋入

キタネグサレ	サツマイネコブ	キタネコブ
ダイズシスト	ジャガイモシスト	土壌病害

雑草抑制、土壌流亡対策、 景観美化に適する

- 発芽・初期生育が旺盛で地表の被覆が早い。
- 紫色の花を一面に咲かせる。
- 一部府県での事例一
- 土着天敵の住処になる。
- 長ネギの前作利用で品質向上と増収の効果あり。

主な対象作物



野菜類(露地)

栽培のポイント

播種期: 5月～6月
播種量: 2～3kg/10a
播種方法: 散播
 種子が小さいため播種後の覆土は浅めにしてください。
施肥量: N:5、P:5、K:0～5kg/10a
すき込み期: 開花後

キタネグサレ	サツマイネコブ	キタネコブ
ダイズシスト	ジャガイモシスト	土壌病害

晩生

規格
500g/袋×20袋入

ヒマワリ NSクルナ (NS Kruna)

王冠の名を冠した大柄景観緑肥

- 有機物補給にも適する。
- パーティシリウム半身萎凋病の抵抗性に優れる。

*パーティシリウム半身萎凋病には強い品種ですが、病原菌密度が高い場合は罹病するため発生圃場での栽培を避けてください。
*条播の際は2～3葉期に中耕することで雑草対策が可能です。

主な対象作物



野菜類(露地)

「NS クルナ」に関する
詳しい情報

栽培のポイント

播種期: 5月中旬～7月上旬
 7月中旬～8月中旬
 ※7月中旬以降の播種は開花期に達しないこともあります。
播種量: 条播 0.5kg/10a
 散播 1.0kg/10a
播種方法: 条播、散播
 播種後は覆土と鎮圧をしてください
施肥量: 休閑 N:6～8、P:8～10、K:0～10kg/10a
 後作 N:4～6、P:8～10、K:0～10kg/10a
すき込み期: 開花してから10日程(結実しやすいため)
 開花期に至らない場合は10月中

表「NS クルナ」の
播種時期による
開花期の違い

道央 (少勢郡佐賀町)	2020年	播種期	5.25	6.5	6.14	6.25	7.5	7.15	7.25	8.10
		開花期	8.2	8.14	8.22	8.27	9.6	9.15	10.5	10.24
道東 (帯広市)	2021年	播種期	5.26	6.8	6.16	6.24	7.6	7.14	7.26	—
		開花期	8.2	8.10	8.22	8.30	9.5	9.13	9.28	—
	2020年	播種期	5.21	6.10	6.17	6.24	7.9	—	7.27	8.7
		開花期	8.3	8.17	8.23	8.27	9.7	—	10.4	未開花
	2021年	播種期	5.27	6.9	6.17	6.30	7.9	7.20	7.27	—
		開花期	7.31	8.9	8.19	9.1	9.9	10.9	10.5	—

ソラヌム ペルウィアナム (トマト野生種)

品種 ポテモン

PVP
海外輸出禁止
(農林水産大臣公示特)

キタネグサレ	サツマイネコブ	キタネコブ
ダイズシスト	ジャガイモシスト	土壌病害

規格
1kg/袋×20袋入

ジャガイモシストセンチュウ対抗植物

- 春播きの方が生育が良好で線虫密度低減効果が高い。
- *エアシャドール利用の場合は320～460g/10aの播種量でも線虫密度低減効果が確認されています。(天候不順年や野良イモ、雑草の影響により効果が十分得られない場合があります。)

主な対象作物



ジャガイモ

「ポテモン」に関する
詳しい情報

栽培のポイント

播種期: 6月中旬～7月上旬(遅霜を避ける)
 8月(夏播きではできるだけ早めに)
播種量: 0.7～1.0kg/10a
播種方法: 散播、密条播
 種子が小さいため播種後の覆土は浅めにしてください。
施肥量: NPKで各8～10kg/10a前後
すき込み期: 播種後60～80日を目安